

# ビル設備科

建物の設備管理の仕事

標準コース(6ヶ月)

定員:15名  
開講月:4月・7月・10月・1月  
※7-1月開講は導入訓練コース受講者と合わせた人数

導入訓練+標準コース(7ヶ月)

定員:2名  
開講月:6月・12月

私たちが快適な生活を送るためには、電気、水、空気は欠かせない要素です。特に、ビルなどの建物には、電気を扱う電気設備、水を扱う給排水設備、室内の温度や湿度を扱う空調設備があります。また、火災発生時に火災を知らせ、初期消火を行なう消防設備や蒸気やお湯を沸かして暖房や給湯に使用するボイラー設備などもあります。ビル設備科では、建築設備についての知識・技能を習得することによって、ビル設備管理業務に対応できる人材を育成しています。



電気設備工事



配管施工



空調設備



給排水衛生設備

## カリキュラム

電気配線工事	建物にある照明やコンセントなどの電気配線についての電気回路や法令、施工技術、安全の訓練を実施します。
シーケンス制御技術	空調設備や給排水設備、ボイラー設備に使用される電気回路について、配線方法や機器の使い方の訓練を実施します。
空調設備管理作業	室内の温度や湿度、空気清浄度などをコントロールする空調設備（エアコン）について、動作原理やエアコンの取付方法の訓練を実施します。
ビルクリーニング	建物内清掃の基本作業、洗剤の使い方、各種清掃用具の使い方、廊下・階段清掃、ガラス清掃、床面洗浄の訓練を実施します。
給排水衛生設備管理作業	建物内で使用される水を供給する給水設備と使用した水を流す排水設備について、配管方法とトイレなどの衛生器具の取付けについて訓練を実施します。
消防設備作業	火災発生を警報で知らせる自動火災報知機や火災の初期消火をする消火器、スプリンクラーについて、法令や機器の扱い方の訓練を実施します。
危険物取扱い	ボイラー設備の燃焼に必要な灯油や重油について、法令や取扱い方の訓練を実施します。
ボイラー取扱い作業	ボイラー設備について、法令や種類、動作原理、取扱方法の訓練を実施します。

## どんな仕事に就くか

- 建物・施設の管理
- 建築物の設備工事
- 施設保安警備

### 主な職種

- 施設管理
- 設備管理
- 消防設備士
- 空調設備工事
- ボイラー技士
- 配管工
- 電気工事士
- 設備警備
- ビル清掃 等

### 取得可能資格

- 小型ボイラー取扱業務に係る特別教育修了証
- 低圧電気取扱業務に係る特別教育修了証
- 高圧電気取扱業務に係る特別教育修了証

### 任意取得可能資格

- 第2種電気工事士
- 危険物取扱者乙種第4類
- 2級ボイラー技士
- 第三種冷凍機械責任者
- 消防設備士乙種第1類・第4類・第6類

※入所時期により訓練期間中に受験できない場合もあります。

### 修了生の主な就職先

イオンディライト(株)、太平ビルサービス(株)、(株)新潟県ビル管理協同公社(株)新潟ビルサービス二幸産業(株)、環境をサポートする(株)きらめき、北越警備保障(株) (順不同 敬称略)



Students voice

## 受講生の声

受講内容は多岐に渡り、幅広い知識と技能を未経験者でも分かり易く丁寧に教えて頂きました。座学では資格試験合格とビル設備全般の理解を目標にして受講しましたが、覚えることが多く予習して臨むことをお勧めします。実技では主にグループで課題に取り組み、得意なメンバーに教えてもらう協力関係ができました。課題は時間内に完了することができ良い経験になりました。就職支援も大きな助けになって、正社員としてビル設備関連に就職ができました。(60代男性)